

門司麦酒煉瓦館とサクラビールの復刻

鈴木商店時代の建造物で一際目を引くのが門司麦酒煉瓦館である。大正2(1913)年、帝国麦酒は九州初の大規模ビール工場として設立され、サクラビールのブランドとして国内で第3位のシェアを誇り、さらには鈴木商店のネットワークを通じ世界中に輸出された。本建物は、サッポロビール門司工場として2000年までビールの製造を続けた。現在は北九州市の施設として、鈴木商店時代からのビールの歴史を伝えるミュージアムとして親しまれている。

2020年にはサッポロビールよりサクラビールが復刻販売された(2021年、2022年春にも限定販売された)。



現在の門司麦酒煉瓦館

